



ふじ むらさき
諫高だより 藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

美術作品と向き合う

校長 福島 健一郎

妻に誘われて一緒に美術館に行くと、「先にどんどん観ていいから」とつれない言葉。出口付近のソファで待ちくたびれ、つい居眠りしてしまう私。その都度、「名曲も、名画も、名作も、感性のない私には縁のない世界かも知れない」と自己嫌悪に陥る。

ある年、割り当てられた務めにより美術展で挨拶する羽目となった。そこには、本当の自分でない「ことば」と「内容」があった。心のこもらない挨拶となり、自分を恥じた。

絵画作品を前にして講師の先生が、「どの時代のどの作品も、ある時期その作品の前に座り続け、日々感動し、苦悩した人間の作業の果てに生まれたものであることに変わりはありません。今の私たちと同じ人生が横たわっていたはずです。描かれた作品には、時間や空間の隔たりはなく、その人間の生き様や感情が見え隠れし、語りかけてきます。絵画はその作者と、観る人との対話なので「すから」といった話をされた。さらに筆のタッチ、人物や静物の配置、絵の具の濃淡を指し示し、その絵画に描かれた様々な物語や秘密や謎をクイズ形式で解き明かされ、「えせ絵画鑑賞者」の私でも大変楽しめた。おのずと美術館に限らず博物館やギャラリーも一人で行くことになった。

美術館や博物館では、最初に展示会の見どころを案内してくれるビデオを眺めることが多かった。また、館内では、解説の音声ガイドを借ることも悪くないと思った。時には、順路も解説もなく、思索のスイッチがはいる、自分なりに空間を感じ、ひとり作品にどっぷりつかれることもあった。

上京したときは、時間の許す限り「上野の森」などの美術館や博物館を訪れることにした。そのような中、平成16年秋、新宿にある東郷青児美術館で「特別展 ゴッホと花“ひまわり”をめぐって」が開催されていた。そこでは、ゴッホならびに同時代の画家による「花」を描いた作品が紹介されていた。そして、シカゴ美術館所蔵の「ルーラン夫人（揺り籠を揺する女）」を中央に、ゴッホ美術館所蔵の「ひまわり」と東郷青児美術館所蔵の「ひまわり」を左右に並べて共に展示され、「ひまわり」に込められたゴッホの意図を探る試みがなされていた。しかし、私には難解な内容と試みであった。ゴッホの画家としての出発は遅く、わずか10年の間に2000点を超える作品を残した。そして、人生に、生活に、苦しみ、37歳で絶望の果てに死を選ぶまでの、激しく短い生涯から、「ひまわり」は、ゴッホ自身をも象徴することが知れた。ゴッホの名画「ひまわり」は想像していたよりも、ずっと、ずっと大きく私には映った。

平成18年度文化祭開催 ～いつまでも輝き続ける諫高星☆～

本年度文化祭が、9月2日(土)に本校校舎・体育館および御書院で開催されました。9月初めにしてはあまり暑くなく過ごしやすい一日で、多くの保護者や一般の方に、生徒の発表を見ていただきました。発表は、生徒会総務が制作した素晴らしいオープニングから始まりました。各クラスは1週間という短い準備期間の中でそれぞれに精一杯努力した成果をステージや展示の部で発表しました。文化部は新メンバーになってはじめての発表の場で、日頃の活動の成果を発表しました。また、クラス発表では次のクラスにそれぞれ優秀賞が与えられました。

<クラス発表の部>*****

2年2組 展示「The 只熊組☆集合
～モザイクの世界～」

<合唱コンクール>(1年クラス対抗)

1年7組 「春よ、来い」

<似顔絵コンクール>

3年8組



オープニング



モザイクアート



1年7組の合唱



似顔絵コンクール

<お知らせ> ☆ ☆ ☆

春に文化部合同祭を開催します

3月18日(日)には、文化部合同祭を諫早文化会館で開きます。文化部は、さらに活発な活動を通じてより良い発表ができますように努力いたしますので、ぜひ御覧いただけますようご案内いたします。

平成18年度体育大会開催

「破顔一笑」～世界で一番熱い秋～

9月2日(土)の文化祭に続き、2学期の2大行事である体育大会を9月10日(日)に開催しました。天気予報では、当日は雨のち晴れという実施が危ぶまれる状況でしたが、生徒たちの熱気に吹き飛ばされたのか、朝のうち少し雨が残りましたが絶好の体育大会日和となりました。大会総務委員長の本田君(3年3組)の挨拶に続き、高石君(3年4組)の力強い選手宣誓で開会しました。3年生を中心にしたきびきびとした動きの中に、激しいデットヒートあり、笑いあいの大会で生徒たちは、満足のいく秋の一日を過ごしました。



入場行進する全校生徒

この大会の準備や当日の様々な運営を生徒たちが主体となって果たす中で、生徒たちは諫高生としてさらに成長しました。3年生は最上級生として、1・2年生を指導し、また、仮装行列ではそれぞれのクラスが納得できる発表ができました。2年生は中堅学年として、幟作成や応援活動で1年生を指導しました。1年生は、諫高に対する帰属意識をさらに高めることができました。文化祭と体育大会を通じて学んだことをこれからの学校生活に生かして、さらに充実したものにするように指導してまいります。大会当日は、多くの保護者の方が来校され、ご激励いただき、ありがとうございました。

なお、各部門の成績は以下の通りです。

- | | |
|----------------|----------|
| <総合の部> | <行進の部> |
| 1位 Aブロック | 1位 Dブロック |
| 2位 Iブロック | 2位 Aブロック |
| 3位 Fブロック | 3位 Iブロック |
| <仮装の部> | <応援の部> |
| 1位 Aブロック | 1位 Dブロック |
| 2位 Dブロック | 2位 Gブロック |
| 3位 Cブロック | 3位 Iブロック |
| <幟の部> | |
| 1位 Aブロック | |
| 2位 Iブロック | |
| 3位 Cブロック・Fブロック | |



懸命に綱を引く生徒と応援する生徒

<各学年の取り組み>



組体操(2年)



仮装行列(3年)



のんのこ踊り(1年)

<10月の行事予定>

29日(金)～	3日(火)	1・2年2学期中間考査
～	4日(水)	3年学年末考査
	5日(木)	全校朝会(任命式) ・各種委員会
	10日(火)	薬物乱用防止講座
14日(土)～	15日(日)	3年対外模試
	17日(火)	芸術鑑賞会
21日(土)～	22日(日)	3年対外模試
	24日(火)	命の教育
28日(土)～	29日(日)	3年県一斉
	31日(火)	県総合文化祭開会式
	1日(水)	創立記念日
	2日(木)	県高校駅伝

今年の芸術鑑賞は

“Challeng-ed 一遠い水の記憶— “
(東京芸術座)

(あらすじ)
オリンピックの平泳ぎでメダルが期待されていた主人公が代表選考会で3位にとどまり、競技に思い悩んでいたところ公立盲学校で奉職することになる。教職に就きながらも心の奥底に挫折感を秘めた主人公と「悪意なき同情」に反発する傷つきやすい心を持った生徒たち。主人公は自己を見つめなおし、自分が学んだことを生徒に伝えるため、再び代表選考会にチャレンジする。そんな主人公に生徒たちは共感し信頼を寄せ始める。